

各位

11月吉日
主催 博大大書店

『かつてなき邪悪な迫害 -人類の善性を滅ぼすもの-』日本語版出版発表会のお知らせ

このたび、博大大書店は『かつてなき邪悪な迫害』日本語版出版発表会を東京で開きます。同書は、中国共産党による法輪功迫害について研究する、世界19人の学者、政治家、医師、弁護士らが、この大規模な迫害が人々の生き方に与えた影響を分析し、まとめたものです。発表会には、本書の著者である専門家4人が来日し、スピーチいたします。

お忙しいこととは存じますが、何卒ご来場頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月2日 金曜日 10:00~12:00	ハロー貸会議室八重洲ファーストビル3F 東京都中央区日本橋3-4-12 八重洲ファーストビル3F
---	---

出版発表会では、登壇する著者がそれぞれの論文にそってスピーチします。



10:00~10:10	開会挨拶、本の紹介	博大大書店
10:10~12:00	著者 スピーチ（記述順予定、逐次通訳付き） 朱婉琪 弁護士 デービッド・マタス弁護士 黄土維 医師 デービッド・キルガー元政府高官 質疑応答 フリートーク	
12:00	閉会	

書籍情報 購入方法

編者 トルステン・トレイ/朱婉琪

「かつてなき邪悪な迫害」日本語翻訳チーム

発売日:2016年12月2日

出版社:博大大株式会社

価格:1250円(税抜)

ISBN: 9784903105901

hakudai.jp

[こちら博大大書店HPでネット注文](#)

[或いは店頭購入を承ります](#)

「かつてなき邪悪な迫害 人類の善性を滅ぼすもの」概要

中国共産党は1989年、天安門広場で民主化運動を弾圧後、20世紀末から今日まで再び国民の精神的信仰を絶滅させる弾圧を始めた。その被害人口は1億人を超える。凄惨な迫害のなかでも、国家ぐるみで「良心の囚人」から臓器を強制摘出するという人道犯罪は、世界から即刻停止の声が絶え間なく上がっている。

迫害はなぜ止まないのか。その根本的な原因を伝える為、2016年ノーベル平和賞候補「臓器の強制摘出に反対する医師団(DAFOH)」代表であるトルステン・トレイ医師と、法輪功の人権活動家・朱婉琪弁護士は、同書を編纂した。

本書の内容

本書は、中国共産党の迫害に関心を持つ世界 19 人の学者、政治家、弁護士、医師、人権活動家らによる論文集。1 章から 5 章まで、政治、社会、経済、医学、法律、メディア、文化のそれぞれ異なる角度から、人類史に大きな暗らみを落とした大規模弾圧を解く。これらの分析から「法輪功に対する迫害」は、単に一億人におよぶ法輪功学習者の基本的人権を侵害しただけでなく、この残虐な迫害が長期的かつ広範囲にわたって行われていることによって、人類の良知が毒され、道徳の普遍的価値観が破壊されたことについて、明らかにされる。

参加無料、

事前申し込みは不要です。

公開イベント、撮影可。

問い合わせ

主催 博大書店

〒171-0021

東京都豊島区西池袋 3-25-15 IB

第一ビル 6F B-2

博大書店 HP hakudai.jp

飯村（日本語）090-6482-6513

飯塚（中国語）080-1048-0214

来日著者の略歴 および本書のなかの論文タイトル

デービッド・マタス氏

第 4 章 法学 p144

見過ごされている

「臓器のための法輪功学習者殺害」



カナダ国家憲章授賞の人権派弁護士。2006 年に『中国臓器狩り』問題についてデービッド・キルガー氏と共に調査書発表。同問題への取り組みで 2010 年にノーベル平和賞候補。

デービッド・キルガー氏

第 2 章 政治、社会、経済 p3

法輪功はカルトではない



カナダ政府元アジア太平洋担当国務大臣。同国議会で全下院委員会の副議長、議長を務めた。弁護士、検事の経歴あり。前出のマタス氏とともにノーベル平和賞候補。

黄士維氏

第 3 章 医学 p132

生体からの臓器狩り

中共政権下の移植濫用



外科医。台湾大学病院雲林分院泌尿外科主治医、同大学教育部認定講師。台湾国際臓器移植関懐協会の副理事長。

朱婉琪氏

第 4 章 法学 p156

人間性を滅ぼす

江沢民の最大の悪



弁護士。台湾国際器官移植関懐協会法律顧問。移植問題の医療関係者への周知活動を続ける「臓器の強制摘出に反対する医師団」アジア地区法律顧問。団体は 2016 年ノーベル平和賞候補。

参考リンク 『かつてなき邪悪な迫害』書籍ホームページ：unprecedentedevilpersecution.com